

# はくあい

H A K U A I

発行所:博愛社/〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3丁目1-72/TEL06-6301-0367 FAX06-6301-5347  
ホームページアドレス <https://hakuaisha-welfare.net>



このキッチンから美味しい  
ごはんがうまれます



タコヤキパーティー



手作りの表札



## ◦ 日向 (ひなた) 開設!! ◦

【地域小規模児童養護施設「日向」】

今年8月1日に3つ目となる地域小規模児童養護施設「日向」が開設されました。場所は田川地域で、2つめの「楓(かえで)」のすぐ裏手です。楓同様一軒家を改装しました。

暑さが厳しい中、子ども達と汗を流し、共にわくわく感を感じながら準備をしました。今では一緒におやつを作ってお茶タイムでゆっくり過ごしたり、食事の準備をし、「いただきます」「ごちそうさまでした」とみんなの元気な声が響いています。安心した暮らしの中で、様々な経験を積み、子ども達の可能性、世界が広がるように、私たち職員は育ちを支援していきます。それぞれの個性、色を尊重しながら、共に「日向」の暮らしを作っていきたいと思っています。また、地域の方々にも子ども達の成長を温かく見守っていただきたく願います。

【今井 佐紀】

もうご覧になりましたか？

### 博愛社ホームページ 一新！

博愛社では、本年5月にホームページを一新しました。各事業の紹介はもちろん、採用情報や近況のお知らせなど、内容は盛沢山。歴史的な写真や聖贖主教会に至るまで、博愛社の魅力が一杯詰まっています。

もちろん、スマホも対応しています。

ぜひ、じっくりとご覧になってください。



<https://hakuaisha-welfare.net>



トップ画面。

四季折々

「悔いのない人生を」

私の趣味の一つに旅行がある。家族で出かけることもあれば、1人でフラッと旅に出ることもある。一人で出かける時の予算の目安は3万円以内で行って帰れる範囲と決めている。



旅に目覚めた理由の1つが、LCCのキャンペーンを使った同期との日帰り福岡旅行だった(往復6千円)。それまでは福岡に日帰りで行くなんて思いもよらなかったが、この値段ならチャレンジしてみようかと思った。なぜなら、大阪にいてもちょっと美味しいものを食べたり、どこかへ遊びに行けば同じくらいの費用はかかるからだ。

それからというもの、平日の休みとLCCのキャンペーン(目安片道2~3000円)や青春18きっぷを使っては鹿児島、長崎、沖縄、石垣島、宮古島、奄美大島、高知、静岡、金沢などなど、時には日帰り、時には2泊3日で旅に出ている。

しかし、今年の1月末に石垣島を訪れて以降、新型コロナの影響で旅に出ることができなくなってしまった。

今は児童養護施設の職員だが、元々は特養に勤務しており、お年寄りのケアをしていくうちに「後悔しないケア」を目指そうと思うようになった。言い換えれば、一度きりの人生、自分自身も後悔しない人生を送ろうと思うようになったのもその頃からかもしれない。

コロナ禍で自粛が叫ばれているが、それまでに行きたいところに行きたいところへ旅に出ることができたので、今のところは旅においては悔いのない人生を送っている…かな？

でも、またいつかコロナが収束する頃には新たに行きたい目標ができて、フーテンの寅の如く「風の吹くまま気の向くまま」フラッと旅に出たいなあ。

いつも快く送り出してくれる家族に感謝の気持ちを込めて

【児童養護施設博愛社 梶川靖夫】

今年も咲いた蓮の花



【サテライト特養清心館】

今年の7月頃に昨年続き、清心館の駐車場横に大きく綺麗な蓮の花が咲きました。蓮の花のお世話をされているのは、高齢者施設にボランティアとして水槽や花壇の手入れをして下さっている佐藤貴志さんです。花を咲かせるにあたってのご苦労はと聞くと、土の入れ替えだそうです。昨

年の土を耕し日干しして肥やし、蓮根(知人から特別に頂いた物)を植え丁寧に水の量を入れる作業です。今年は、コロナ禍の影響で施設訪問が難しく、思うように手入れが出来なかった為、咲くかどうか心配であつたとのこと。しかし、昨年に丁寧な土の入れ替えをして下さり、今年も花が咲きました。毎年、大きく綺麗な花が見られよう



美しさは土台から

願っています。佐藤さんありがとうございました。【宇野 豊】

汚れていた車いすがピカピカに

【特養 博愛の園】

認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」とされます。その若年性認知症の初期症



8月の酷暑の中、きれいにしてくれました

状態の方たちが、仕事や運転を辞めなければならぬ状況にあり、社会との交流が少なくなっています。その方達の「社会貢献を何かしたい」「もっと社会とかわりしたい」というお声から、『NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター』の沖田裕子さんを中心に、福祉施設での車いす清掃のボランティア活動が始まりました。毎月1回、博愛の園にも来ていただきます。私

達も汚れている車いすがある事は分かっています、なかなか掃除する時間が割けず、後回しになりがちです。清掃していただいた車いすはピカピカになり、入居者は大変喜んでおられました。

あらためて、人やモノを大切にすることを基本的な事を皆さまから学ばせていただきました。厚く御礼申し上げます。【坂本 康一郎】



ナスをハサミで収穫。隣はトマト。

博愛社こども園では幼稚園・保育園でも行っていた菜園活動を継続したいと考え、4・5歳児が畑を作る場所を



### 収穫は『人とのつながり』

【博愛社こども園】

探していました。すると「博愛の園の畑を使っていいですよ」と川田施設長からの温かいお声掛けがあり、またチャプレンも「教会の空いている敷地をどうぞ。」と仰って下さいました。

早速5歳児が博愛の園の畑へ向かうともうす

でに畝ができています。「この場所が一番！」と特養で活動中の園芸ボランティアの方のご厚意だったそうです。更に入居のおばあちゃんが「水やり偉いね」、おじいちゃんも「米ぬかをおいしくからな」とおっしゃってくれます。畑を通して次々に法人内の方との関わりが生まれました。そしてついにボランティアの方と会う機会があり皆でお礼を伝えることが出来ました。「皆が休みの時はおちゃんが水やとくからな！」「僕らもおっちゃんの花花生に水あげな！」とのやりとりに胸が熱くなりました。



教会で「わくわく」と一緒に

また教会敷地でさせて戴いた4歳児も、取り決めをしたわけではないのに朝は園の子ども達、夕方は「放課後デイサービスわくわく」のお友達が水やりをしました。保育者が「雨を有難うございます」と祈ると子ども達が「お野菜大きく育ちますように」と続きます。子ども達の神様への感謝の心も育っています。

あの時「菜園を続けたい」と思い、諦めずに園長や職員に相談したこと、さまざまな人の温かさ、優しさ、思いやりに触られたことが思い起こされます。そして子どもの心の育ちをしつかりと目の当たりにすることが出来た夏となりました。

【5歳児主任 米倉充音】



### 畑でとれたきゅうりでクッキング

【こひつじ乳児保育園】

園庭の畑で採れたきゅうりを使い、1歳児できゅうりの塩もみのクッキングをしました。

に食べられたり、「もつとちゅうだい」とおかわりする子どももいたり、とても楽しい時間になりました。

栄養士が目の前できゅうりを切るのを、身を乗り出して見ていた子ども達。ジップロックに塩ときゅうりを入れて渡してあげると嬉しそうにし、もみもみするのを楽しんでいました。そしてそれをお皿に入れると、コリコリといい音をさせながら「おいしいね。」と食べていて、普段きゅうりが苦手な子どもも他のお友だちの様子につられたよう

園庭の畑は遊びの延長で子ども達なりにお世話をしている、園庭で遊んでいる時に小さなじょうろで水やりをしたり、一緒に見ることで色の変化や花が咲いたり実ができたという成長を感じることができています。秋には芋掘りなど、良い経験を見せてもらえる畑に感謝です。

【林 眞澄】



目の前の調理に興味津々

博愛社後援会会費  
▽個人 1口 3千円  
▽法人 1口 1万円  
いずれも年会費で、  
期間は4月～翌年3月  
▽郵便振替口座番号  
0092074676  
▽口座名義  
社会福祉法人 博愛社

# コロナ禍の中での夕涼み会

【児童家庭支援センター博愛社】

毎年200人を超える地域の方々が遊びに来てくださっている夏の恒例行事「夕涼み会」。多くの夏祭りが中止となる中、感染症対策をしっかりと取りつつ、当センターの柔軟性を活かして開催できなにか、職員間で案を出し合いました。その結果、一回の定員を3家庭とし、複数の日程で開催する小規模「夕涼み会」を行うことになりました。

わなげ、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、の3つのブースで、15分程で終わる小さな夏祭り。参加者が集まるのか、楽しんでもらえるのか心配していましたが、



スーパーボール  
うまくすくえたね

キャンセル待ちが出る程のお申込をいただき、「夏らしいことができてよかったです」、「楽しかった」と温かい言葉をたくさんいただきました。各家庭と話ができたり、家族写真を撮ることができたり、例年の夕涼み会とは一味違った、アットホームな時間となりました。

【吉川 詩織】

## コロナ禍でのあなたたい支援 ありがとうございます

新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が4月に出され、半年が過ぎようとしています。この間、感染拡大防止のための自粛、様々な行事の中止、特養においてはご家族との面会禁止など、当たり前の日常が大きく覆されてしまいました。

世の中も激変し、大変な生活を強いられる中でも、地域やご家族の皆様から、マスクや衛生物品などたくさんのご寄贈がございました。また春に児童養護施設から巣立った子が、初め

の給料で大量のマスクを送ってくれたりもしました。その優しい心遣いに胸がいっぱいになりました。100年前のスペイン風邪に、先人達が毅然として立ち向かったように、我々もコロナに負けずに、博愛社で暮らしている方々のかけがえのない日々の暮らしを支えていきます。



お花屋さんから大量のお花もいただきました

## スペイン風邪と博愛社 (続)

博愛社の歴史探検 [31]

一九一八年十一月当初、博愛社にスペイン風邪が入ってくるが、前号に続きもう少し具体的に資料(「業務日誌」や実之助日記、機関紙等)から見ておこう。一日には博愛社出身者が「昨夜より俄かに発熱四十度以上に重患に陥り頻りに社父母を慕ふて止まず直ちに来院を請ふとの旨電話あり社父母直に急行到着せし時既に落命の後にてありしは是非もなく社父母の感慨如何深かりしぞ」、かくて夕方に死体を本社に引取り、明日葬式をすることに。葬儀は「本社教会堂に於て本社職員并に芳交会員及尋常五年以上の児童其他故人の友なる諸娣会葬側垣牧師の司式にていと厳かに執行したり」とある。

五日には数名、六日には「昨日来尚数名の罹病者を出せり一日も早く全癒せんことを祈る」とあり、七日には「本社附属愛隣夜学校に於ては流行性感冒のため出席数三分の一に減じたれば本夜より一週間臨時に休業せしむ」。八日には社父(社長)の實之助も罹病する。彼の日記、

十三日の段には「今日も感冒にて終日就床したり一略一本日は水曜日なれど祈禱会は病人多きために中止したり大岳保母も感冒にて就床」と認められている。九日には社父や数名の児童のためバルナバ病院山田医士に來訪

を請い「何れも予後の良好を告げられ一同安堵の思を為す」とある。十一日には「日々感冒に侵さるるもの続出し幸に何れも軽微なれど主婦始め昼夜看護に忙殺一日も早く本病の一掃を祈る」とあり、本社尋常小学校も

その間の対処方法は「何れも大抵熱度三十九度五分位ひに俄然昇騰し、甚だしきものは四十分二三分迄も昇るものがあつた。手当としては極力微温湿布(可成温度を強くせり)を行ひ一面発汗剤を与へて充分発汗せしむ

に「社父の微恙も大に快方に向ひ今朝離床事務を視らるる其他も追々軽快に赴く」。十八日に学校が再開され、二十五日の朝礼では皆が会堂に集まり、「感冒も既に一同全快を為し一人も斃れし者なきは全く神の御恵みによること、深く一同感謝したり」と、漸く終熄した。

「幾多の悲しき家庭や、遺族のみならず、世界一般の人心に深く人世の無常、総ての人は草の如く其栄は露の如きものたる事を、深く感ぜしめました」(「博愛の園」二百号)と心中を述べている。

室田 保夫(関西学院大学名誉教授)